

成人歯科保健事業(R4-5)

資料4

1 令和4年度の取組

- ・子どもや子育て世代向けの啓発として、ゲーム調の歯科動画を作成。You Tube で公開するとともに、教育委員会総務課と協力し、市内小中学生と保護者へ向けタブレット配信。出張の健康教室でも活用。
- ・成人歯科健診の結果、要精検者の低年齢化がみられるため、成人歯科健診受診勧奨ハガキを25歳に設定し、送付しました。
- ・成人の歯科保健に対する意識を把握するため、包括連携協定企業の第一生命と協力し、市民に対しアンケート調査を実施しました。
- ・低関心層への啓発方法として、動画、デジタルサイネージ、インスタグラムを開始しました。
- ・(変更)成人歯科健診は受益者負担の観点から、令和4年度より500円の一部自己負担といたしました。

動画 MOUTH HAZARD



2 成人歯科健診結果

・受診率は3.6%で、前年度と比較し1.7ポイント減少しました。健診結果の内訳では、異常なしが0.4ポイント、要精検が1.1ポイント減少。要指導は1.6ポイント増加しました。

	対象者数		受診者数		受診率		健診結果					
	対象者数	男性	女性	受診者数	男性	女性	受診率	男性	女性	異常なし	要指導	要精検
令和2年度	44,518	22,589	21,929	2,205	641	1,564	5.0%	2.8%	7.1%	5.9%	25.8%	68.3%
令和3年度	43,524	22,068	21,456	2,308	764	1,544	5.3%	3.5%	7.2%	6.4%	25.2%	68.4%
令和4年度	44,153	22,285	21,868	1,595	491	1,104	3.6%	2.2%	5.0%	6.0%	26.8%	67.3%

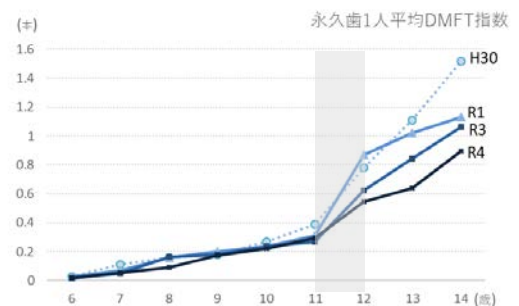
3 歯科保健の課題と今後の取組

(1)年齢別 DMFT 指数*の増加(単位：本)

増加はゆるやかに、指数は徐々に低下傾向。

→小中学生向け啓発を継続実施

*DMFT 指数(=被検者全員の DMF 歯の合計/被検者数)
D 未処置歯、M う歯が原因の喪失歯、F う歯が原因で処置された歯、T は permanent tooth-surface の略。



(2)成人歯科健診受診率の低下

受診状況は全体的に低下したが、ハガキ勧奨した25歳は維持。

男性の受診率が女性に比べ、低い状況が継続。

→啓発を企業・学校と協働と強化。短時間での健康教室、講演会の動画配信、学生と一緒に広報誌を作成するなど対象に届く工夫を行う。



(3)成人歯科健診 若年から要精検率増

20 から 25 歳での要精検率増はゆるやかに。しかし 20 代での要精検率増加は継続。

→健診受診勧奨ハガキを25歳に送付を継続し早期受診を促進。

